

登別・白老（虎杖浜）地域

指定基準	講評
<p>イ．当該地域マリンビジョンが、地域のポテンシャルを活かすとともに個性ある計画となっていること。</p>	<p>登別白老地域は、「環境（資源・衛生）を基盤とした観光（景観・温泉）との熱い連携、そして深い感動（食・交流）を」というキャッチフレーズで、地元水産物の品質を高めつつ、地産地消を推進し、周辺観光産業等との連携による相乗効果の発現を目指している。恵まれたロケーションを活かし、広域交通施設や観光拠点、周辺商店街と密接に連携協働しており、地域として価値あるビジョンとなっている。</p>
<p>ロ．当該地域マリンビジョンが、独創性、先駆性、広域性のいずれかが認められるとともに、他地域モデルとして見込み、北海道マリンビジョン21の具現化に資する計画となっていること。</p>	<p>計画内容については、漁業地域だけでない様々な背後施設を巻き込んで連携を図る取り組みとなっている。全国的に知名度が高い観光施設、温泉街の協力による地元水産物のPR強化や商店街による地元水産物のアンテナショップ設置など、個々にポテンシャルの高い地域拠点が相互に連携融合させながら地域水産物の価値向上を狙う取り組み手法には独創性が見受けられる。</p> <p>今後、さらなる連携融合方策によって相乗効果を生む具体的な動きを期待するとともに、それらが他地域への参考となることを期待したい。特に、背後温泉宿泊施設への地元水産物の供給は全道各地においても実現が難しい課題であるが、登別・白老地域において魅力ある食による観光振興が実現することを期待したい。</p>
<p>ハ．当該地域マリンビジョンが、地域協議会の十分な議論・調整を踏まえた計画であること。また、地域マリンビジョン策定後であっても、適宜地域協議会において当該地域マリンビジョンの円滑な推進を図る計画となっていること。</p>	<p>多様な協議会参加者による十分な議論がなされた計画であると評価できる。地域マリンビジョンの策定時には地域の各部会を通じて状況を説明したり、プレスに投げ込みを行い新聞を活用して広く周知を行った。策定後においては市の広報誌に取り組み内容を掲載するなど、地域での合意形成に工夫がなされ、ビジョンを推進していくための環境醸成もなされている。</p>
<p>ニ．当該地域マリンビジョンに位置付けられている拠点漁港が、北海道マリンビジョン21の趣旨に鑑み、計画において拠点漁港のいずれかに該当すること。</p>	<p>拠点漁港の登別漁港はモデル性が確保されている。既に衛生管理のための取り組みを進められているほか、水産物のストック機能を向上のための畜養施設整備も予定されている。安心安全な水産物の安定供給によって地域マリンビジョンを実現する一助と期待されるほか、継続的なビジョン実現に向けた取り組みによって漁港の効用が最大限発揮されるものと考えられる。</p>
<p>ホ．地域マリンビジョンの実現に向けた取り組み内容が各実行主体ごとに明確になっているほか、それらの取り組みが地域において継続的に行われる等、地域マリンビジョン及び取組主体の熟度が認められること。</p>	<p>地域水産物をPRするためのアンテナショップが地域連携協働により継続的に開催する等ビジョン実現に向けた取り組みが着実に実行されている。</p> <p>恵まれたロケーションの中での取り組みであることから、一つの取り組みが独立して成立しやすいこともあるが、フォローアップの検討の際には個々の取り組みのビジョンにおける位置付けを常に確認しつつ、複数の取り組みに相乗効果を持たせるような仕掛けを意識して行っていくことを期待したい。</p>